学校番号	１００９

令和３年度　音楽科

教科	音楽科	科目	器楽	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	標準バイエル　（全音楽譜出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

忍耐強く継続的にまた音楽をピアノで表現することの楽しさを学習しましょう。ピアノ音楽の美しさを味わえるように、特に将来に必要な職業を目標としている人は楽しみながら努力を惜しまないで進みましょう。

2　学習の到達目標

個人レッスンを通じて技能向上を目指し、上達することで音楽（楽器）を愛好する心を育て、感性を高める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	楽器の音色や奏法の特徴に関心を持ちそれらを生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら楽器の音色や奏法の特長を生かした音楽表現を工夫しどのように演奏するかについて表現意図を持っている。	楽器の音色や奏法の特徴を生かした音楽表現をするために必要な器楽の技能を身に付け創造的に表している。	楽器の音色や奏法の特徴を生かした音楽を理解し、そのよさや美しさを主体的に味わう。
評価方法	毎時間の個人レッスンによる観察 年間３回の発表			

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
第1・2クール	基礎的なテクニック	読譜の基礎としてバイエルピアノ教則本を用い、まず、楽譜に慣れるようにする。 ・個別にレッスン指導 ・第１次成果発表	○	○	○	○	a:ピアノの習得に主体的に意欲的に取り組んでいるか b:楽譜に忠実にまたイメージを持って表現しようとしているか c:音楽を表現するために必要なピアノの基礎的なテクニック（手の形、指の使い方）を身に付けていってるか d:音楽を形作っている要素を理解し演奏することで味わっているか	個人レッスンで確認 発表 鑑賞ワークシート
第3・4クール	正しい姿勢奏法	よい音を出せるように姿勢・奏法を取得する。 ・個別にレッスン指導 ・第２次成果発表	○	○	○	○	a:ピアノの習得に主体的に意欲的に取り組んでいるか b:楽譜に忠実にまたイメージを持って表現しようとしているか c:音楽を表現するために必要なピアノの基礎的なテクニック（手の形、指の使い方）を身に付けていってるか d:音楽を形作っている要素を理解し演奏することで味わっているか	個人レッスンで確認 発表 鑑賞ワークシート
第5クール	自然な表現	音楽としての表現力を身につける。 ・個別レッスン ・年間成果発表	○	○	○	○	a:ピアノの習得に主体的に意欲的に取り組んでいるか b:楽譜に忠実にまたイメージを持って表現しようとしているか c:音楽を表現するために必要なピアノの基礎的なテクニック（手の形、指の使い方）を身に付けていってるか d:音楽を形作っている要素を理解し演奏することで味わっているか	個人レッスンで確認 発表 鑑賞ワークシート

※　表中の観点について　a:音楽への関心・意欲・態度　　b:音楽表現の創意工夫
　　c:音楽表現の技能　　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。